

平成25年度 職員紹介

平成25年度の4月以降に仁寿苑に異動または新入職員を紹介します。半年以上たち、少しずつ仕事に慣れてきたようです。今ではそれぞれの分野で貴重な新戦力になっている仲間たちです。



皆さんの健康を守っていきます!

坂本 八寿子(看護師)



まだ慣れない事もありますが、頑張ります!

岩崎 悠理(介護福祉士)



お口のケアは私に任せて下さい!

岡田 千珠(歯科衛生士)



利用者様の笑顔の為に頑張ります!

木村 稔(介護職)



これからよろしくお願ひします。

石橋 馨(介護職)



元気が一番! 笑顔で明るく頑張ります。

長原 愛(介護福祉士)



まだまだ現役! 頑張っていきます。

小原 正博(介護職)

相談窓口変更のお知らせ

この度、通所リハビリテーションセンターの相談窓口が変わりました。これまで以上に精一杯頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。



武田 茂幸
(介護福祉士)
(通所リハビリテーション)



長原 愛
(介護福祉士)
(通所リハビリテーション)



城納 清恵
(仁寿苑課長・看護師)
(仁寿苑入所・通所)

編集後記

国会において「特定機密保護法」の激論をニュースで聞いていると、この国は何をそんなに急がなければならないのか、何を目指しているのか、この先の日本が少し心配です。いろんな意見があり、意見をひとつにまとめることは大変難しいことですが、民主主義とは本来時間がかかるものです。

先日、川本町内で寒行の托鉢僧をお見かけしました。今年の冬は早くから冷たい雨が雪に変わりました。新春号が届くころには新年を迎えていることと思います。

「何となく今年はいい事があるごとし、元旦の朝晴れて風なし」皆さま方にとって幸多き年となることをお祈り申し上げます。

広報誌に関する
お問い合わせ

通所リハビリテーション
介護老人保健施設・短期入所療養介護

0855-72-3111
0855-72-3250

担当：武田茂幸
担当：福富隆介

※写真の掲載は本人さま、ご家族さまより承諾を得ております。

平成25年 冬号

仁寿苑だより

社会医療法人仁寿会

介護老人保健施設 仁寿苑



❀~~~~ごあいさつ〜厩（うまや）七分に乗り三分〜❀

介護老人保健施設 仁寿苑施設長 加藤節司

今年もまた新たなお正月を迎えることができました。皆さまにおかれましてもおわかりなくお過ごしのことと存じます。いつも仁寿苑を愛していただきありがとうございます。

今年の干支は午です。馬は、有名なラスコー洞窟壁画の狩猟の様子からわかるように、当時は狩猟の対象となっていました。その後紀元前3500年頃馬の家畜化が始まり、食用、乳用、輸送、開墾そして、車輪や馬具の発達を契機に、馬は武器としても利用されるようになりました。人間が御すために使う「手綱」を馬の口でとめ、馬に手綱を引く人間の意志を伝えるための道具である「はみ」は、人類史上でも画期的な大発明であったといえます。馬は元来「速く走れて、丈夫で力持ち」であり、加えて人による改良により、競馬や馬術競技をはじめとして多様な用途に適した遺伝子をもっています。馬をいかに利用するか、その可能性は実は私たちの想像を超える大きなものです。まさに、「馬には乗ってみよ、人には添うてみよ。」です。医学関連の分野では、ホース・トレッキング（人馬と自然とのふれあいの中で人のストレスを解消し癒し効果を高めます）やホース・セラピー（揺れる馬上で馬にしがみつこうと体のいろいろな筋肉を使うことがダメージを負った機能の回復

に効果があるとして障害者の機能回復や情緒教育に用いられています）などが広がっております。人と馬との夢は干支の今年さらに大きく膨らむことでしょう。

その馬に関することわざのひとつに「厩（うまや）七分に乗り三分」があります。これは華やかな騎乗のみで馬術が上達するのではなく、地道に馬の世話全般を通じて馬そのものを良く理解し、馬が快適に暮らせるように心配りし準備が出来るようになってこそ、本当の乗馬家と言えるようになることのとえです。私たちケアの専門家もまた、地道な、人の全てに対する学びの努力があつてこそケアの専門家として質の高いサービスが提供できます。

今年も多くの「学び」と「仁のこころ」で、私たちが有するチーム機能を一人でも多くの方々にご利用いただきたいと考えております。どうぞ皆さまのご指導をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

参考・引用文献等

- ・東京農業大学生物産業学部生物生産学科ウェブサイト(横濱道成教授)
- ・北海道日高振興局ウェブサイト
- ・ウィキペディア「馬」

通所課

9月 案山子づくりに挑戦



「みんなで作ることに意義がある。みんなで話し合い、みんなで案山子を作ろう!」、ある通所ご利用者さまからの提案で、通所課で案山子づくりに挑戦することとなりました。通所ご利用曜日別に、どんな案山子を作るかを話し合い、古着など必要な材料はご利用者さまにご協力頂き、7体の案山子が完成しました。この7体の案山子の使命は、交通安全運動週間中の「交通安全の呼びかけ」でした。交通安全協会と川本町役場のご協力により中央駐車場に「交通安全」のタスキをかけてご披露させていただきました。役目を終えた案山子は、次の使命として、ご利用者さまや職員の畑で農作物を守る仕事に就くことになりました。お勤め、お疲れさまです!

10月 笑顔がいっぱい、楽しかった 大運動会

「本日は第1回仁寿苑大運動会です。日頃のリハビリの成果をしっかりと発揮し頑張りましょう!」掛け声と共に通所課で初めての大運動会を開催いたしました。通所ホールには手作りの万国旗、利用者の皆さまと職員が白組・赤組に別れ、「選手宣誓」「小豆リレー」「魚釣り競争」「パン食い競争」「玉入れ競争」など7競技で競いました。「頑張れ!頑張れ!」の大声援、ずっけには大爆笑、勝負は僅差で赤組の勝ちとなりました。参加者の皆さんは満面の笑顔で、「久しぶりに笑った」「とても楽しかった」「また来年も是非やろう」と早くも来年に目標を定められていました。来年も必ず大運動会を継続したいと思っています。



リハビリ

レクリエーションっていったいなんでしょう?

皆さんは「レクリエーション」または「レク」という言葉をよくお聞きになると思います。ところで、正直なところレクリエーションという言葉の意味をご存知ですか?

そもそも、レクリエーションとは仕事や勉強の疲れを癒すための休養や気晴らし、またはそのために行われる様々な活動のことを言います。このレクリエーションという言葉は「リクリエーション」という言葉から派生した言葉とされています。「リ・クリエイト」訳すと「再創造・再構築」となり、これは壊れたものが作り直されること、人が病気から回復すること、疲労を癒して元気をとり戻すという意味があります。そしてしばしば、このリクリエーションとレクリエーションは同じ意味をもつ言葉としても使われます。つまりこの二つの言葉は、生活全体をもう一度つくることを表しています。

結局レクリエーションとは、自分の自由時間の中で行なう運動や趣味など全てを通じ、心身のリフレッシュ効果を期待する時間の使い方を言うのです。たとえばグランドゴルフや読書、勉強や昼寝もレクリエーションとなります。皆さんも自分にあったレクリエーションを探して心身のリフレッシュに努めましょう!



(株)ナリコマ エンタープライズの紹介

みんな喜んで食べてくれるかな~

私たちが毎日のお食事を担当しています

この日は焼きうどんです!

今回は、仁寿苑の食事作りを担当している会社を紹介します。

仁寿苑では給食業務を株式会社ナリコマエンタープライズに委託しています。

安全でおいしい食事作りに日々努力しています。毎日の食事はもちろん、行事食やイベントにも協力しています♪ピンクと緑のエプロンを見かけたら気軽に声をかけて下さい。



Xmasメニュー